

公開シンポジウム

# スポーツ現場における セーフガーディングを考える

～ ミラノ・コルティナ2026での経験を踏まえて～

<b>DATE</b> 2026年5月19日（火） 18:30 - 20:00	<b>VENUE</b> 池袋キャンパス 太刀川記念館 カンファレンスルーム	<b>ENTRY</b> 参加無料 QRより 事前申込	
---	--	--------------------------------------	--

## 趣旨

近年、IOCやFIFAはアスリートおよびアントラーズのウェルフェア、特にセーフガーディング（セーフスポーツ）の重要性を強く打ち出している。2022年北京冬季大会以降、IOCは各NOCにウェルフェアオフィサー（WO）の配置を推奨し、メンタルヘルスとセーフガーディングの専門家がその任にあっている。本シンポジウムでは、ミラノ・コルティナ2026でWOを務めた講演者、誹謗・中傷対策の担当者、そして本学部所属のメダリスト・アスリートを迎え、スポーツ現場における安全確保の現状と課題を議論する。スポーツウエルネスを掲げる本学部として、この理念をいかに教育へと展開していくべきかを共に考える。

## SPEAKERS 登壇者

### 田中ウルヴェ 京氏

スポーツメンタルトレーニング上級指導士/  
ミラノ・コルティナ2026 ウェルフェアオフィサー

ソウル1988アーティスティックスイミング・デュエット銅メダリスト。引退後、日・米・仏代表コーチを歴任。東京2020パラ車いすバスケ男子日本代表メンタルコーチとして銀メダルに貢献。慶應義塾大学にて博士号（システムデザイン・マネジメント学）取得。スポーツ心理学者。

### 小塩 康祐氏

弁護士/TMI総合法律事務所/  
ミラノ・コルティナ2026 JOC誹謗・中傷対策本部長

早稲田大学法科大学院修了。弁護士登録。スポーツ庁出向。IOC、IPC等の国際スポーツ団体法務部に勤務。現在は、スポーツ庁、JSC、JOC、JPSA、UNIVASをはじめ、中央競技団体、プロリーグ、選手等への法務サポートを提供。

### 野明 花菜

立教大学スポーツウエルネス学部 4年/  
ミラノ・コルティナ2026 日本代表選手

スピードスケート競技者。ミラノ・コルティナ2026チームパシュート銅メダリスト。ISU世界ジュニア選手権チームパシュート優勝、全日本ジュニア選手権女子総合優勝など、国内外の主要大会で輝かしい実績を有する。

### 土肥 美智子

立教大学スポーツウエルネス学部 特任教授/  
ミラノ・コルティナ2026 チーフウェルフェアオフィサー

日本サッカー協会診療所院長。日本スポーツ協会公認スポーツドクター。FIFAワールドカップ2018、2022日本代表帯同、パリ2024 Team Japan副団長（医師として初）・チーフメディカルオフィサー。北京2008・ロンドン2012・リオ2016日本選手団、東京2020 Team Japanに帯同。

## 主催 / ORGANIZER

立教大学スポーツウエルネス研究所

## 対象 / AUDIENCE

本学教職員・大学院生・学部学生  
競技団体関係者・一般

## 問合せ / CONTACT

スポーツウエルネス研究所 事務局  
spowellkenkyu@rikkyo.ac.jp